

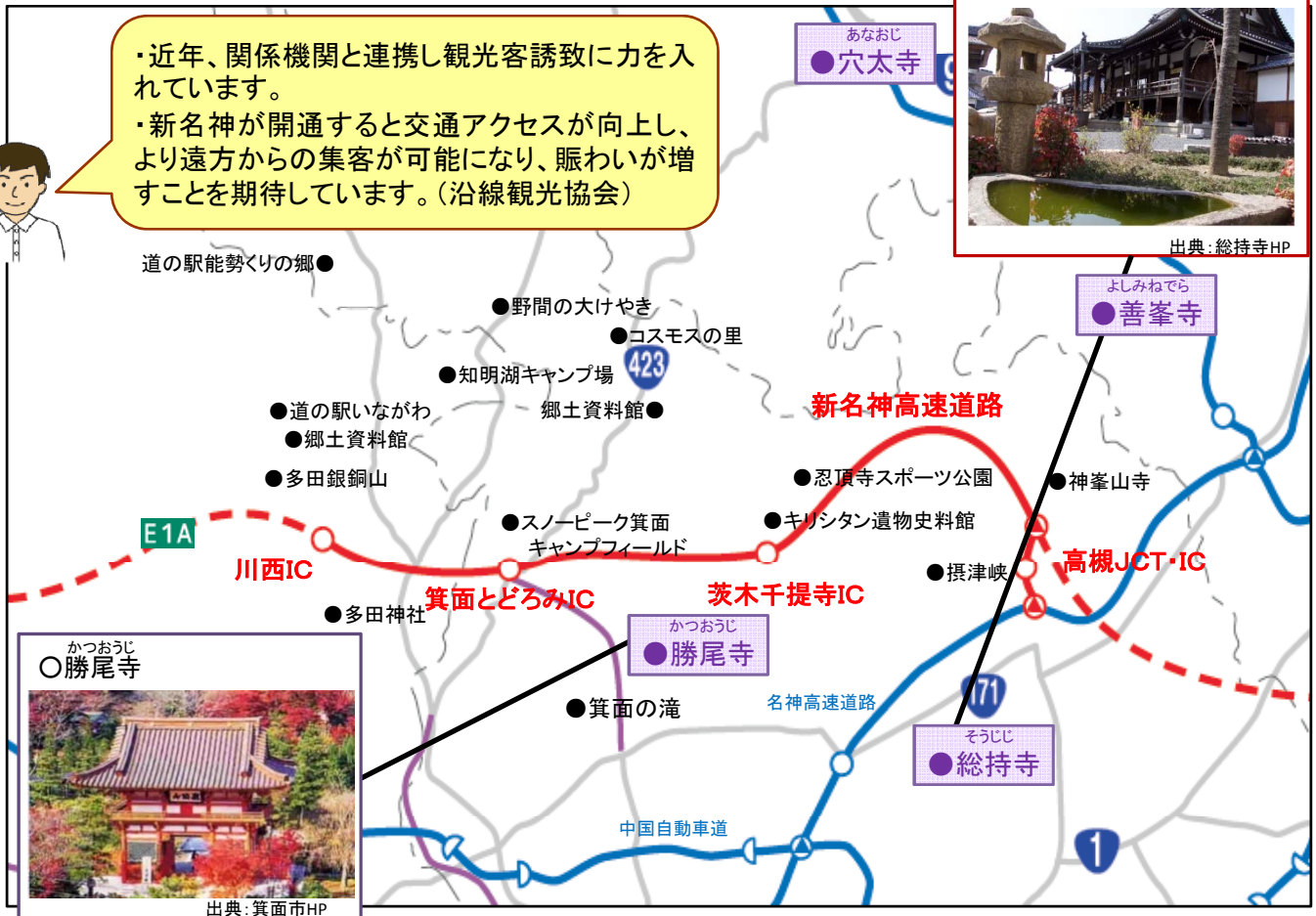
～アクセス性の向上などによる観光の活性化～

- ・今回の開通区間周辺には、自然に囲まれた観光地が多数あります。
- ・E1A新名神高速道路が開通することで、周辺観光地へのアクセス性の向上や移動時間の短縮により、広域的な観光客の集客やツアー旅行の魅力が高まるなど、観光の活性化が期待されます。

◆高槻JCT・IC～川西IC周辺の観光名所

・近年、関係機関と連携し観光客誘致に力を入れています。

・新名神が開通すると交通アクセスが向上し、より遠方からの集客が可能になり、賑わいが増すことを期待しています。(沿線観光協会)



○国内バスツアー(西国三十三所巡礼の旅)

年間約4万人が参加する人気の国内ツアー

京都発の西国三十三所巡礼の主な旅コース
 四条大宮・京都駅⇒善峯寺⇒穴太寺⇒総持寺
 ⇒勝尾寺⇒E1名神(E1A新名神)⇒京都駅



【西国三十三所巡礼の旅】
 718年、長谷寺の徳道上人が仮死状態で閻魔大王と会い「悩める衆生を救う為、三十三所の霊場巡りを広めよ」と託宣を受けたことに始まり、33の霊場を設けるも当時はあまり普及せず…。約270年後、託宣を受けた花山法皇自ら巡礼したことで人々に普及し、現在も親しまれています。(㈱阪急交通社HPより)

・新名神が開通すれば、名神から新名神へのルート変更も検討します。

・時間短縮が図れば観光地への滞在時間を十分にとったり観光地を追加することで、お客様の満足度、ツアーの魅力が高まるのが期待されます。

・渋滞や事故などのトラブルの際に新名神へ迂回が可能であれば、到着時刻に遅れることがなくなり、ゆっくり旅行を楽しめるものと期待しています。

(㈱阪急交通社)

